

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

化学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

議事要旨

日時 平成28年4月27日（水）16:00～17:40
会場 日本学術会議 5-C（2）会議室
出席者 阿尻委員、加藤委員、高原委員、中村委員、藤田委員、山内委員、川合委員（スカイプ）、栗原委員（スカイプ）
陪席 日本学術会議事務局（石井参事官、大橋参事官付、鈴木参事官付）

配布資料

- 資料1 学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて
- 資料2 評価小分科会における審議事項等
- 資料3 第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方
- 資料4 今後のスケジュール
- 資料5 化学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として中村委員が、副委員長として阿尻委員が、幹事として藤田委員及び加藤委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
- 2) 評価小分科会における審議事項等
学術の大型研究計画検討分科会委員でもある高原委員より、資料について説明があった。

3) 利益相反についての考え方の確認

学術の大型研究計画検討分科会委員でもある高原委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

4) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、各委員の評価が利益相反の点から問題がないことの確認、区分 I（学術研究領域で融合領域（コード 32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけの審議の方法について、メール審議により審議・決定することとした。

また、副分野を選択している提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

今後の審議については基本的にはメール会議で進めることとした。

また、第 1 回の議事要旨については、委員長一任とすることとした。